

フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

暖冬による雪不足でスキー産業に大きな影響が出たシーズンだが、観光産業以外にも影響が心配される産業が農林業だ。里山を自

由に動きまわる動物。大系線信濃森上駅周辺でも、タヌキ・キツネがエサを確保しようとして懸命に土を掘る姿は、異様だ。昨年大量発生し被害を与えた、ほとんどの野菜に被害を与えるヨトウムシやコメの商品価値を著しく低下させるカメムシは農家泣かせの害虫だ。

どが大幅に減ったと昆虫の急減を報告した。だが世界的には、幾つかの国で大発生したバッタの害が拡大中でソマリアでは、25年で最悪の被害で非常事態宣言、ケニアでも7年ぶりの大きな被害が

発生は、気候変動が関係しているのではこの指摘もある。私たちは、バッタとイナゴを明確に区分しているが、欧州では区分は不明確だ。旧約聖書の「出エジプト記」で、神は10の災いを、

1日に自分の体重と同じ量の植物を食べる被害は深刻で、食糧不足が1300万人以上に陥っていると国連食糧農業機関が報告している。

誰もが予想しなかった新型コロナウイルスによる世界的な食糧危機は無いと断定できるのだろうか。規模の混乱。世界的な食糧危機は無いと断定できるのだろうか。

誰もが予想しなかった新型コロナウイルスによる世界的な食糧危機は無いと断定できるのだろうか。規模の混乱。世界的な食糧危機は無いと断定できるのだろうか。

地域課題を、力を合わせて乗り越える意識が大切だ

人口減少と高齢化は農林業の担い手を奪い、人の手が入らず荒れてしまった里山や農地は、増加の一途だ。昨年には、日本自然保護協会が、2008〜17年に日本各地の里山に

発生している。中東などにも拡大して、群れは、ルクセンブルクに匹敵する広さを占め、日に数10トもの餌を求めて高速に移動して、飼料作物に多大な被害との情報だ。降水量の増加などでの大量

地上にもたらしている。その一つはイナゴだと。映像化された作品「パール・バック原作の「大地」や「エクンシスト2」での被害の映像シーンは今も忘れ

「予想しなかった」想像すらできなかった」と言い切れない現象が続いている。今後、何が要因で社会混乱が起きるか想像すら困難だ。まず私たちができる事を真剣に考える事ではないだろうか。私



里山の耕作放棄地を地域の課題と捉える事が問われている

たちが住む里山の環境をどの様に整えて行くべきなのだろうか。高齢化が進む地域で、個々の責任で対応できる事は限られている。

皆が知恵を出しながら、住みよい地域を実現する行動を考えてみてはどうだろうか。(NPO法人信州地域社会フォーラム会員)